

## 建築相談ステーションのご案内

当地区では不燃化特区の特別な支援として、老朽木造建築物を除却する事業や不燃化住宅への建て替え助成などを行っています。地域密着の相談窓口「建築相談ステーション」も開設していますので、お気軽にお問い合わせ・お立ち寄りください。

＜支援期間＞  
平成25年度～平成32年度

### 特別な支援の対象区域

不燃化10年プロジェクト不燃化特区  
「荒川二・四・七丁目地区」区域内



### ＜建築相談ステーション＞

【開館時間】  
毎週水曜日  
午後1時～7時  
毎週木曜日  
午後1時～5時  
第2・4日曜日  
午前9時～正午  
(年末年始・祝日を除く)



電話 070-5370-5827  
荒川二丁目25-3 (防災センター1階)

### ご相談の一例と支援内容

- 維持管理が大変なため、古い住宅を処分したい。
- 住宅が老朽化しているので、建替えたい。
- 当地区に所有している土地を売却したい。

- 区が建物の寄付を受け、区が除却工事を実施する事業があります。
- 除却後の更地を適正に管理すると、固定資産税・都市計画税が5年間8割減免されます。
- 戸建て住宅の建替えに、除却費(全額)、設計費・工事監理費(45%)を区が助成する制度があります。
- 建替え後の住宅の固定資産税・都市計画税が5年間全額減免されます。
- UR都市機構が土地を買取る事業があります。

### ■お問い合わせ

荒川区 防災都市づくり部防災街づくり推進課

防災街づくり第二係 大内、高橋、楯列、佐藤、武笠、涌井  
電話：(03)3802-3111 (内線)2821,2839 FAX：(03)3802-4104

荒川区シンボルキャラクター



あらみい

あら坊

## 地震などの災害に強いまちを目指して 荒川二・四・七 まちづくりニュース

第22号

平成26年7月編集発行

荒川二・四・七防災まちづくりの会、荒川区防災都市づくり部防災街づくり推進課

## 「まち歩き」と「ワークショップ」を行いました！

平成26年6月14日(土)、荒川平和会会館(荒川四丁目48-7)で「荒川二・四・七防災まちづくりの会」の全体会を行いました。

当日は10名の方々にご参加いただき、「まち歩き」を行い、その後「ワークショップ」で「老朽空き家」などをテーマに議論し、気がついた点や改善のアイデアなどを出し合い「まちの検討マップ」を作成しました。

### ＜当日の主な内容＞

老朽木造建築物の現況を確認し、新たな制度(不燃化10年プロジェクト不燃化特区の取組)を区から紹介しました。

会場の周辺で「老朽空き家」が集中する地区について、現地確認(まち歩き)を行いました。

「老朽空き家」などをテーマに話し合い、まちの検討マップを作成し、意見交換とまとめを行いました。

## 【お知らせ】 補助90号線沿道の皆様へのアンケートを行います

荒川二・四・七丁目地区では、「不燃化10年プロジェクト不燃化特区の取組」として、防災上の効果が期待される補助90号線※沿道建築物の不燃化を促進していくこととしています。

そのため、このたび、補助90号線沿道に係る地区計画の一部及び防火地域・高度地区について、都市計画の変更を予定しています。

そこで区は、補助90号線沿道の方を対象に地区計画等の都市計画の変更案に対するご意見を伺うことを目的にアンケート調査を実施します。つきましては、このアンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

※ 都市計画道路補助90号線は、昨年10月に「事業概要及び測量説明会」、今年6月に「用地測量説明会」が開催され、東京都により事業着手に向けた準備が進められています。



都市計画道路補助90号線  
アンケート対象区域

# まち歩きとワークショップでの主な意見・まちの検討マップの作成

会場の平和会館のまわりをまち歩きして、  
まちのようすを把握しました

ワークショップでは、気が付いた点・問題点や  
改善のアイデア・希望する取組などについて話し合い、  
まちの検討マップを作成しました



荒川区から現況の  
説明がありました



地図を見ながら  
まち歩きの開始です



狭い路地を  
見つけました



空き家らしい家  
を見つけました



会場の平和会館です



高いブロック塀の  
横を歩きました



長屋の生活感が  
薄い印象でした



近所の方から危険な空家  
の指摘もありました

この家は、昔から空き  
家のままで、最近、ご  
みの散乱や家屋の傾  
きがでてきており火事  
が心配・・・。

## ■気が付いた点など

- ・空き家も目立つ、古くて危ない。店子が多いが、大家さんは誰だろう
- ・空家は漏電やホームレスが忍び込むといった問題がある。誰も住んでいない。木造でガラスも割れてくる。空家は怖いし危険。

## ★改善のアイデアなど

- ・住んでいない長屋は、大家さんを調べて交渉してもいい。行政のほうでも強制的に空き家を除却できないか。

## ■気が付いた点など

- ・高いブロック塀がある。傾いている。誰も住んでいないので、誰に言ったらいいかわからない。人のものは壊せない。

## ★改善のアイデアなど

- ・まちづくりのルールに基づいてブロック塀を減らしていく。



## ■気が付いた点など

- ・空き地になりそうなどところがある。

## ★改善のアイデアなど

- ・地域で情報を提供するので、公共（小公園・広場など）に活用してもらいたい。

## ■区への質問

- ・不燃化特区の事業はいつまで続くのだろうか。補助 90 号線整備の買収などの予定はどうか。

## ■区からの回答

- ・平成 32 年（2020 年）で、6 年後を目標にしている。
- ・都の事業だが、区の窓口（防災街づくり推進課）に相談にきてもらえれば良い。

## ■気が付いた点など

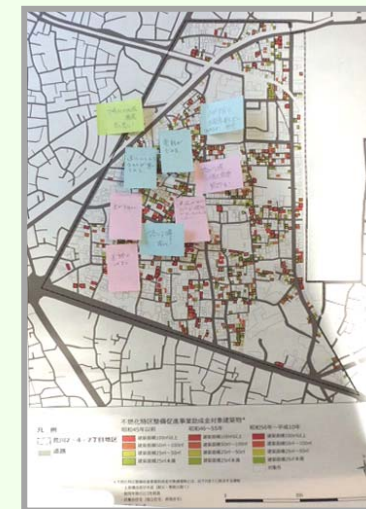
- ・細い路地から自転車が飛び出して危険。交通ルールを守らない。
- ・高齢者も自転車をよく使っている。

## ★改善のアイデアなど

- ・注意喚起を促す表示などが必要。交通ルールを守るよう周知、徹底を。

## ■その他の意見

- (△：悪い点、○：良い点)
- △ 思いのほか、路地が多い。道路が狭い。
  - △ 道が細く、建物が古いところはこわい
  - △ 新しい住宅と古い住宅などがあるところは道路と路地が混ざっている。
  - 路地は車や人の通行が少ないので、日常生活には楽だと感じた。
  - △ 電柱が道路わきに建っているのが倒壊したら、道路をふさぎ、妨げになる。電柱が邪魔。
  - △ 道にいろいろなものが置いてある。
  - 鉢植の花がきれい
  - △ 古くからのお祭りが途絶えてしまった町会もある。
  - △ 高齢化で神輿を担ぐ人が少なくなり、このままでは外の人に頼まなければならない。



## 区により全体のとりまとめが行われました

- 参加した方々から、「ブロック塀が高くて危ない」「電柱が邪魔」「古い建物は大丈夫か」「空家が多い」といった問題の発言があった一方で、「道が狭いけど車が入らないから逆に歩きやすい」「お花がきれい」などの良い点の意見もありました。
- 区としては、良い点は残しつつ整備ができるといいし、区の制度に申込みがあれば支援ができます。そのために、地元の情報・相談があれば区に届くようにしてもらい、少しずつでも災害に強いまちづくりを進めていきたいところです。
- まちづくりの仕組みは色々ありますし、上手く使っていただけるよう、区からもまちの方々にPR活動を進めていきます。個別の町会の役員会などにも区の職員が説明に伺いますので、ぜひ区に声掛けしてください。